



“語るべきもの”を持った国際人になるために…… ～より確かなアウトプット力を～



校長 佐藤 智子

故 学園長の田川 茂先生は、「外国語を流暢に使うことができれば国際人なのでしょうか。言語はあくまでコミュニケーションの道具であって、それを操る者の人間性こそが問題であるはずだ。たとえば（いろいろな国の人と、日本の歴史や哲学などの話題で会話をするとき）会話が英語であって、**あなたが流暢な英語の使い手であっても、徳川幕府のことや実存主義について何も知識や考えを持っていないれば、ただただ目の前で繰り広げられる議論の傍観者でいるしかありません。**」と、ご著書『より高く』の中でおっしゃっています。“知識や考え”を持つこと、“語るべきもの”（上掲した池上氏の言葉）を持つことは、コミュニケーションやアウトプットの原点だと考えます。



【朝日新聞《2025.2.24》ジャーナリスト 池上 彰氏】
《札幌の高校での特別授業を終えてのコメント》
「宗教であれ言語であれ、リスペクトしあえてこそ本当の国際人では？」～中 略～「外国語を話せること以上に重要なのは、『語るべきもの』を持つこと。そこに教養が表れる」

1年：
2年：
3年：
4年：
5年：
6年：

先日行われた「English Speech 大会」では、代表児童が立派に発表しました。日本と世界についての知識を広げる本校の「Learning Theme」に沿って、児童は**自分の考え(語るべきもの)を持ち**、伝えました。今年度のグランドデザインテーマ **言葉の学びを広げ、伝え合う力を育む ～より確かなアウトプット力向上へ～**に、どれだけ迫れたかは、この Speech だけでなく、(全体保護者会でもお話ししました)学校評価アンケートの振り返りや、普段の授業での取組等を含めた検証を通して考えて参ります。保護者の皆様には、この一年間の本校教育活動へのご理解やご支援、学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。保護者の方々からいただいた言葉や好評価に、職員一同大変励まされ、また、今後さらなる改善や充実を図る意欲を高めることができました。



6年生持久走大会が2月8日に行われました。十分に練習を積めない状況の中、小学校生活最後の行事として臨みましたが、しっかりと走り切る姿が見られました。結果は、男子1位： **さん**でした。



また、6年生は18日、国会議事堂を訪れ、他校と共に模擬議会も経験しました。の議長としての任務遂行ぶりはとても立派でした。その後、レストランタピルージュでテーブルマナーを兼ねたランチをとりました。卒業を間近に控え、6年生は、仲間と共に和気藹々と一日を過ごしました。



《新児童会メンバー》

5年生(新6年生)

・
・
・
・
・
・

4年生(新5年生)

新児童会メンバーが決まりました。各学年、立ち会い演説会では、立候補した理由やどんな児童会・学校をつかっていきたいかを堂々と語っていました。児童会のメンバーに選ばれた8人はもちろんですが、このメンバーだけでなく上級生の新5,6年生全員が、暁星国際流山小学校をリードし、より良い学校をつかっていく思いを新たにしました。また新メンバーは、3月7日の「6年生を送る会」で立派に司会進行を務めることができました。



13日に、パラリンピアンを招聘しての4,5年生対象の特別授業ゴールボール体験がありました。実際に金メダルを触らせてもらう場面もあり、子ども達から歓声があがりました。障害を持った方への理解だけでなく、自分にできることをそれぞれが精一杯やることの大切さ、さまざまな人とつながる大切さを学びました。



25日の芸術鑑賞会『オズの魔法つかい』（ミュージカル劇団「夢団」）は、子ども達の心、思考を大きく揺さぶりました。本作品は、書籍・バレエ・演劇・映画・ミュージカルと様々な形で届けられており、既に何らかの形でストーリーを知っている児童がかなりいました。演技だけでなく歌や踊りで子ども達を作品世界に引き込み、今回は客席の中に入って演じるシーンも多くありました。後援会のご協力で、感動に満ちた時間を学校全体で共有できたことを心より感謝いたします。

こわかったところもありましたし、やさしいところもありました。かなしいところ、いろいろありました。なきそうになりました。さいごに、ほっとしました。



友達ができるのはうれしいことだけど、そのあと、友達と楽しくいろいろなことをしながらも友達を守ったりすることや、どれだけ友達を大切にできるかが大事。それができるのが、本当の友達なんだと思いました。



【公演後、児童を迎える夢団の方々】



知恵、優しい心、強い勇気。どれも人間に必要なことで、そのような人になるには、人に頼るのではなく、まずは自分で叶えてみる。チャレンジして失敗しても必ずなにか残るし、悔いはないし、その失敗を生かしてさらに成長できると思う。それに気が付くことができた一日でした。



27日、2Aで国語科、28日、1Bで英語科、1Aでフランス語の研究授業が講師や教科書会社の方を招いて行われました。事後検討会では活発な議論が展開され、講師からの助言やワークショップも併せて実り多い学びの時間を持つことができました。児童の学びを広げ深めるために我々教師の学びを今後も大切にして参ります。



3月7日は「6年生を送る会」でした。1年生と手をつなぎながら入場した6年生。入場門で手を放す時の大人びた笑顔が印象的でした。1～5年生の心のこもった出し物を見て涙する姿や、クイズや教職員の歌(Official 髭男dismの『チェスボード』)などでは大いに盛り上がる姿があり、全校でこれまでの交流に思いを馳せながら温かい気持ちになれた時間でした。右の写真は、6年生が卒業記念に作ったブックエンドです。ライブラリーで大切に使っていきます。



3月の予定

* 新年度4,5月の予定につきましては、過日配布しました。

3月	12	水	(給食なし)	14	金	修了式(1～5年:
	13	木	第5回卒業証書授与式(5,6年生のみ参加)(1～4年休校 5年生 下校)			* 新年度年間計画につきましては、始業式の日[4月7日(月)]に配布予定です。

表彰されました

【スポーツファシリティ株式会社 主催】

CHIBA U-9 LEAGUE7 CHAMPIONSHIP FINAL STAGE 2024 優勝

【一般社団法人書星会・千葉日報社 主催】第77回千葉県小・中・高校書き初め展覧会 書星会賞